

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 7日(水) 19時 ~ 時		
市町村名	松川村	グループ名	3班
要 旨			
乳川の右岸を通ると信毎に載ったが、新聞社には情報を出したのか。			
県で発注の約7割が県外業者発注。(5億円以上の工事) 県内の土木業者の検討を。			
地質学的に見ても安曇野の原風景を問われてくる。 道路の財源3000億~5000億円。			
道路を作ることを前提として計画が進められてきているが、ゼロに戻して考えていく事が大切である。(道路は本当に必要なのか等)			
県民が自分達で県政を考えて行く様になって来ている。			
高瀬川左岸道路、大口沢 大変混雑する。交通量が多い。 街の中に溶け込んだ交通渋滞のない道路を望んでいる。行政懇談会等でより多くの住民の意見を、どうせやるなら、地域の業者を指名して欲しい。			
市町村長が知事の県政のやり方が気に入らない。今まで、行政だけで進めてきたので、県政へ住民が参加するというやり方が気に入らないのでは。			
発表の場がある人達だけの考えで今まで進めてきている。			
朝の渋滞、現実の問題をどう考えていくのか。道路が必要だからここまで話が出来ている。しかしこの地域に高規格道路が本当に必要か。現道を改良した道路でもいいので、現状を何とかしていかなければならない。現実の問題を考えていった方が良いのでは。			
この地域の地層を考えても、ここに高規格道路を作るべきではない。			
道路は必要ないというのではなく、環境に良くないので、作ってはいけないという考え。環境に良い道路の作り方などない。			
知事は住民の視点を聞いて、考えに反映させるのでは。			
反対の意見を出している人はそれなりの理由がある。景観が守られれば良いのかという問題でもない。			
高規格道路としての道路は、この地域にはいらぬという声もある。 地元としての意見はそれぞれあると思うが、この地域ではいらぬとまとめれば。			
新潟の高規格道路(例)それがこの地域にできても困るのでは。 交通渋滞の事を考えると、必要な事かもしれない。			
信号が交通渋滞の問題ならば、それを考えていけばよいのでは。 松本市内の交通渋滞に関しては、道を大きくしてもダメ。道路を多くしても、車の量が増えるだけ。			
推進側の意見としては、交通渋滞問題が大きなものである。			
どうして波田から糸魚川なのか。豊科ICから池田町でもいいのに。			

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 7日(水) 19時 ~ 時		
市町村名	松川村	グループ名	3班
要 旨			
会社によっては高速料金を負担してくれるが、高規格はお金を取らないので、渋滞緩和。			
国営公園のための道が、今山の中に作られているが、二重になっている。無駄でないか。景観も何も無い。高規格道路、公園、それぞれの道を作る必要はあるのか。			
時間を適当に切り上げないで欲しい。期限を作らず、この問題をじっくり考える必要がある。			
意見交換会は、白紙に戻してゼロベースとして考えてよいのか。足踏み状態なのか。この意見交換会の位置付けについて教えて欲しい。計画そのものが白紙なのか。事実は白紙に戻っていないのに、話し合いをしても無駄なのでは。計画を白紙に戻す事はできるのか。			
〈大町建回答〉			
継続性を持ちながらも話をして、最終的に判断。			
村民で21日に離すのなら、同じレベルで進めていかなければならない。来ている職員の違う回答ではいけない。同じペースで全体会に希みたい。			
今回はまだ始まっていないので、やめるのは簡単である。			
合同会で終わりにしない方が良い。			
合同会で終わりにすれば、今まで違うペースで考え、話し合ってきた事の意義がない。			
急ぐ必要はない。2、3年かかっても考えていくべき。			
今後も情報を交換するべき。			
この地域でいらない事を、推進している県議に伝えていくべき。			
行政区単位で意見交換を。			
ゼロベースの意味を課長の方から全体会で説明を。			
〈大町建回答〉			
現在まで計画してきたことをなかったことにして、意見交換をするべき。			